

平成25年度

市政世論調査概要

第67集

和歌山市

はじめに

近年、安倍政権の経済政策の効果により、景気は着実に上向き、和歌山市においても、景気動向調査等で景気の上昇が確認できるどころです。今年4月に消費税率が8%に引き上げられ、景気への影響が懸念されますが、安定した社会保障制度を早期に確立することで、持続的な成長への道筋が見えてくると考えます。

さて、今年は「和歌山ディスティネーションキャンペーン」や「紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録10周年」など「和歌山」が注目される年であります。これを絶好の機会ととらえ、和歌山市に来られる方々を「おもてなしの心」で歓迎し、万葉の時代から人々を魅了し続ける、四季折々の食・文化・歴史が凝縮されたこの「和歌山市の魅力」を市内外に積極的に発信し、そして、いよいよ来年開催となった「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の盛り上がりにつなげていきたいと思っております。

そのためには、行政だけでなく市民の皆様のご協力が必要です。これまで、「市民力」「基盤力」「観光力」の3つの磨きに重点を置き、さらに「いのちを守る」「人と文化を育てる」「ふるさと力を高める」といった新しい視点を加え、「元気わかやま市」の実現への基礎を固め、道筋をつけてきました。この道筋を引き継ぎ、市民一人ひとりが「ふるさとに誇りを持ち、住んでいてよかったと実感できるまち」の実現を目指し、「未来への架け橋」を築きたいと思っております。

この冊子は、これらの状況を踏まえ、アンケート調査した結果を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映させていただくことを目的とした貴重な資料であります。

ここに平成25年度市政世論調査概要（第67集）をとりまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

和歌山市長 大橋 建一



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

（色は決まっていない。）

市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の内容.....	1
3. 調査の方法.....	1
4. 集計区分	2
5. 回答者の属性.....	3
6. 回答者の家族環境.....	6
II. 調査の結果	9
1. 市政一般について.....	9
2. 地域の助け合いについて.....	10
3. 消防・防災について.....	18
4. 防犯対策について.....	36
5. 消費者意識について.....	40
6. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について.....	44
7. 男女共生について.....	46
8. 男性の育児参加について.....	47
9. 健康について.....	49
10. スポーツについて.....	64
11. 日常の買い物環境について.....	68
12. 家庭での動物の飼育状況について.....	69
13. 市民公益活動について.....	71
14. 節水について.....	75
15. 生ごみの処理について.....	81
16. 和歌山市の広報について.....	82
17. 市政運営について.....	87
18. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度について.....	89
19. 和歌山市の市政について（自由意見）.....	101
III. 調査票	109

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「971」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧下さい。